

(院内掲示：オプトアウト)

透析患者さんへ

社会医療法人川島会では、以下の研究を行っております。

この研究は「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づいて、該当となられる患者様から直接同意をいただく代わりに、このお知らせによる情報公開をもってご同意いただいているものとして実施しています。

該当すると思われる方で、この研究に情報を利用することをご了承いただけない場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

【研究課題】

透析患者におけるクレラップを用いた固定方法の有用性とコスト削減効果

【川島会倫理審査委員会承認番号】

川島病院：1459

【研究期間】

研究倫理委員会承認日 ～ 2027 年 3 月 31 日

【研究の対象となる方】

①研究対象となる方

- 1) 固定強化としてすでにサージットを使用していた血液透析患者さん
- 2) 不穏などで抜針の危険性のある血液透析患者さん
- 3) 皮膚脆弱でスキントアを起こす危険性の高い血液透析患者さん

②研究対象とならない方

なし

【研究の意義】

抜針およびスキントア件数の減少による患者負担の軽減、また、資材削減による病院運営の効率化

【研究の目的】

透析患者の高齢化に伴い、皮膚の脆弱化や認知症患者が増加している。これまで抜針予防として固定器具・材料の見直しを行ってきたが、抜針およびスキントアの発生を0件にすることはできなかった。従来は皮膚に直接大判透明フィルム（以下サージット）を貼付していたが、高コストであることから、より安価で抜針時のスキントア防御および抜針防止を目的として、クレラップ（以下ラップ）への変更を検討した

【研究の方法】

第1～第4透析室において、透析中の固定にサージットを使用していた患者の固定方法をラップに変更した。ラップは安全面に配慮し、クレラップ 22cm 幅を使用した。ラップの末端には安価な色付きビニールテープを貼付し、剥がしやすく工夫した。巻き方は腕の太さを考慮し、基本は 1.5 重巻とし、認知症などで自己抜針リスクが高い場合は 2 重巻とした。皮膚に密着させ、ループ部から穿刺部まで覆うように巻く。

本研究では、当院に保管されている診療録の情報のみを使用するため、特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。また、過去の診療録の情報のみを使用するため、健康被害や身体的苦痛はなく安全が担保されています。

利用する診療録の情報は下記の通りです。

1) 研究対象者背景

皮膚が脆弱な方、不穏による抜針のおそれがある方

2) 臨床検査

スキンチェッカーによる皮膚水分量

3) 透析関連情報

実際に使用しているサージット、ラップの写真

4) 研究期間中の研究対象者情報

スキンテア発生報告書、医療安全報告書

【個人情報の保護・外部への情報の提供】

この研究に関わって収集される情報・データ等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱います。

あなたの情報・データ等は、解析する前にあなたの個人情報は対応表のある匿名化をした上で、当院において研究責任者（池尻 真理子）が、パスワードロックをかけたパソコンで厳重に保管します。「【研究の方法】に記載された診療録の情報 1）～ 3）」の項目から氏名などを削除して、匿名化した情報として解析業務受託機関に提供いたします。また、委託機関へは個人を識別できない統計解析情報として提供します。なお、個人の結果をあなたにお伝えすることはできません。

【結果の公表について】

研究結果は、個人が特定出来ない形式で学会等にて発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究中止・終了後 5 年または発表終了後 5 年のいずれか遅い日までの期間保存されます。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示いたしますので下記までご連絡ください。ご不明な点がありましたら下記お問い合わせ先へお尋ねください。

【利益相反について】

なし

【研究体制】

本研究の実施や報告の際に、都合のよい成績となるよう意図的に導いたりすることはありません。尚、あなたへの謝金はありません。

- ・研究実施機関：社会医療法人川島会川島病院
研究責任者：池尻 真理子

【問い合わせ先】

社会医療法人川島会 川島病院 池尻 真理子

住所：徳島県徳島市北佐古一番町 6-1

電話：088-631-0110(代表)